

Hanzan north Elementary School

社会を明るくする運動丸亀地区
小学生作文コンテストにおいて、
6年の矢野裕幹さんが優秀賞を受
賞しました。



社会を明るくするためにできること

飯山北小学校六年 矢野裕幹

私は、社会を明るくするためにできることが三つあると思います。それは、あいさつと「ありがとう」「ごめんなさい」を言うこと、ルールをきちんと理解してから守ること、まわりに思いやりを持つことです。

まず一つ、あいさつと「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことは、私が小さい時からお母さんやおばあさんに言われてきた言葉です。私は、人と話すことが苦手で、小学生になってからも大きな声であいさつができませんでした。今も正直苦手なことですが、「ありがとう」も思っているし、「ごめんなさい」という勇気が出ません。いつも、どうして言えないのか考えるけれど、私がぼんやりして、どうしようと考えすぎてタイミングをなくしてしまっただからだと思います。そんな時、おばあさんが教えてくれたことがあります。そ

Hanzan north Elementary School

れは、「たった少しの言葉だけど、あいさつやありがとうは相手がうれしい気持ちになるし、ごめんなさいは優しい気持ちになるでしょ？だから、言った方がいいんだよ。それを言われていやな気持ちになる人はいないと思うよ。」ということなんです。確かに、私も自分が言われた時を思い出しました。とてもうれしい気持ちになって、にっこりしてしまいました。学校に行く途中、知らない地域の人や学校の友達のお母さんにがんばってあいさつすると、笑顔であいさつを返してくれました。全然知らない人でもあいさつ一つで知り合いになれたような気がしました。お母さんから、「あいさつで裕幹を知ってもらおうことで、登下校での安全を守ってもらっているのよ。」と教えてもらって、なるほどと思いました。これからも努力しないとイケないけど、続けていきたいです。

次に、ルールをきちんと理解して守ることです。私は、家や学校でのルールを聞いた時に、どうしてこんなにルールがたくさんあって守らなくてはいけないのかなと面倒な気持ちになりました。お店の物はお金をはらわずに持ち出してはいけない、人にけがをさせてはいけないということは警察の方が教えてくれたのでわかってはいたけれど、もっと身近なルールはどうして守らなくてはいけないのか、よくわかりませんでした。私は、早寝早起きが苦手です。いつも夜更かしをして、決まった時間に起きられません。でも、家族で話した時に、お父さんにどうして早寝をしないといけないのかを教えてくださいました。それは、学校や仕事の時間が決まっているから、それに間に合うように起きることを考える。人間はからだを休めるために必要といわれる

Hanzan north Elementary School

時間があること、それらを合わせると起きる時刻から寝る時刻は決まってくるという話でした。私は、すぐく納得できました。ルールというものは、自分やまわりの人々を守ってくれる大切な決まり事であることを知りました。小さなことだけれど、ルールの意味やどうして守らなければいけないかを理解することはとても必要だと感じました。これから大人になっていく時に、もっと難しいルールや犯罪に関係する決まりもあると思うけれど、しっかり知って理解できるように努力したいと思います。

三つ目に、まわりに思いやりを持つことです。私は、よく机から物を落とします。私が落としたのにまわりの友達はずっと拾ってくれます。また、横断歩道をわたる時に速く走る車を停めて地域の方々がわたしてくれそうです。毎日たくさんの方々の思いやりで、私はうれしくて優しい気持ちになります。だから、弟やまわりの友達にも優しくなれる気がします。どんなことをしたら、相手が優しい気持ちになるかを考えてみたいと思います。

最後に、あいさつや言葉、ルールを理解すること、思いやりを持つこと、どれも新しい事ではありません。当たり前なことだと思います。だけれど、そんな小さな当たり前の事がいろいろ理由でできないことも多いと思います。どうしてできないのか、どうしたら少しずつできるようなのかを考えることも自分のまわりの小さな社会を明るくできると信じています。その小さい輪が家族から学校の友達、地域の人、日本の人、世界の人に広がっていきけば、とても明るい社会が待っていると思います。

Hanzan north Elementary School